

龜谷  
行著  
和漢脩身訓  
六



修  
第 五 號  
共 拾 冊  
年 月 日 備付

五

共  
拾

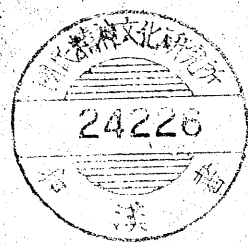
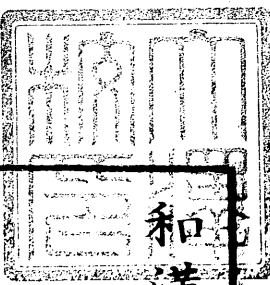
K110.1  
190  
6

和漢脩身訓卷六

第一章

省軒龜谷行著

○人道ハ五倫ヨリ急ナルハナシ。五倫ハ君父ヨリ重キハナシ。然ルトキハ忠孝ハ名教ノ根本。臣子ノ大節ニシテ。忠ト孝トハ途ヲ異ニシテ。歸ヲ同クス。父ニ於テハ孝ト曰ヒ。君ニ於テハ忠ト曰



口葉各... 卷六

フ。吾誠ヲ盡スユエニ至テハ一ナリ。

藤田東湖語  
弘道館述義

○凡、人ノ人タル所以ノ者ハ禮義ナリ。  
禮義ノ始メハ。容體ヲ正クシ。顔色ヲ齊  
ヘ。辭令ヲ順ニスルニ在リ。容體正ク。顔  
色齊ヒ。辭令順ナリ。而シテ後禮義備ル  
以テ君臣ヲ正シ。父子ヲ親シ。長幼ヲ和  
ラグ。君臣正シク。父子親シ。長幼和シ。

而シテ後禮義立ツ。禮記冠義

○惠ハ主ノ高行ナリ。慈ハ父母ノ高行  
ナリ。忠ハ臣ノ高行ナリ。孝ハ子婦ノ高  
行ナリ。主惠ニシテ懈タラザレバ。民奉  
養ス。父母慈ニシテ懈タラザレバ。子婦  
順ナリ。臣忠ニシテ懈タラザレバ。爵禄  
至ル。子婦孝ニシテ懈タラザレバ。美名  
附ク。管子

○明ノ張念芝曰ク。敬以テ親ニ事フレ  
 バ親安シ。敬以テ長ニ事フレバ長安シ。  
 敬以テ下ヲ御スレバ。左右婢僕ノ人安  
 シ。敬セザル所ナケレバ。安ニセザル所  
 ナシ。故ニ曰ク。敬セザルベカラズト。楊園集

○明ノ蔡虛齋曰ク。人ノ道ヲ立ツル。仁  
 ト義ト曰フ。蓋凡一切ノ人ニ接シ。一切

ノ事ニ應ズ。皆當ニ仁ヲ以テ。主ト為ス  
 ベシ。仁ノ行ヒ去ラザルニ至テハ。便義  
 ヲ以テ之ヲ裁ス。故ニ窮セズ。畜德錄

○士君子。心ヲ處シ。事ヲ行フ。須ラク人  
 ヲ利スルヲ以テ主ト為スベシ。人ヲ利  
 スルハ。原ト大小ニアラズ。但吾ガ力量ノ  
 能ク到ル所ヲ以テ。方便ノ事ヲ行フ。即  
 是惠澤人ニ及ナリ。路上ノ一磚一石ノ

如キ。足ニ碍ハルアリ之ヲ去ルモ。即是  
善事ナリ。唯久ク勤メ行フニ在ルノミ。  
豈小善為スニ足ラズト謂フベケンヤ。

人生必  
讀書

○善ヲ行フノ人ハ。春園ノ草ノ如シ其  
長ズルヲ見ザレドモ。日ニ増ス所アリ。  
惡ヲ行フノ人ハ。刀ヲ磨スルノ石ノ如  
シ。其損スルヲ見ザレドモ。日ニ虧クル

所アリ。穀詒彙引  
人倫要鑑

○善ノ當ニ為スベキコト。飲食衣服ノ  
如ク然リ。乃吾人日用常行ノ事也。人未  
禍福ヲ以テ。衣食ヲ廢セシ者ヲ聞カズ。  
而シテ善ヲ為スハ。禍福ヲ以テ行止ヲ  
為ス。未毀譽ヲ以テ。衣食ヲ廢セシ者ヲ  
聞カズ。而シテ善ヲ為スハ。毀譽ヲ以テ  
行止ヲ為ス。唯善ヲ為スノ心。真誠ナラ

ザルガ故ノミ。果シテ真ニ。果シテ誠ナ  
ラバ。尚ホ饑寒ニ甘死シテ。善ニ趨クヲ樂  
ム者アラシ。呻吟語

○凡智愚ハ他ナシ。書ヲ讀ムト。書ヲ讀  
マザルトニ在リ。禍福ハ他ナシ。善ヲ為  
スト。善ヲ為サズルトニ在リ。貧富ハ他  
ナシ。勤儉ト。勤儉ナラザルトニ在リ。毀  
譽ハ他ナシ。仁恕ト。仁恕ナラザルトニ

在リ。同上

○宋ノ張無垢曰ク。明ヲ内ニ用キル者  
ハ。己ガ過ヲ見ル。明ヲ外ニ用キル者ハ。  
人ノ過ヲ見ル。己ガ過ヲ見ル者ハ。天下  
皆己ニ勝ルヲ視ル。人ノ過ヲ見ル者ハ。  
天下皆己ニ如カザルヲ視ル。此智愚ノ  
分ル、所以ナリ。自警編  
○鰥寡孤獨廢疾ノ人。窮シテ告グルコ

ト無キ者ハ他人此ニ遇フモ。猶將<sup>ホ</sup>ニ惻然タラントス。况ヤ族人ニ在リ。漠然トシテ相關セザルベケンヤ。若シ不幸ニシテ之アラバ。衣ヲ損シテ之ニ衣セ。食ヲ損シテ之ニ食ハセ。凡<sup>ソ</sup>為ベキアラバ。餘カヲ惜<sup>ム</sup>コト勿<sup>シ</sup>レ。張揚園集

○恐懼ナル者ハ身ヲ修ムルノ本ナリ。事アルノ前ニ恐懼スレバ畏ル。畏ルレ

バ。モツテ禍ヲ免ルベシ。事アリテ後ニ恐懼スレバ悔ユ。悔ユレバ以テ過ヲ寡クスベシ。夫レ智者ハ畏ル。故ニ身ヲ保チ。愚者ハ畏レズ。故ニ身ヲ殺ス。省心雜錄

○先哲云。仁人ハ心地寛舒。事々寛舒ノ氣象アリ。故ニ福集リテ慶長シ。鄙夫ハ胸懷刻薄。事々刻薄ヲ以テ能ト為ス。故ニ福薄クシテ澤短シ。韓魏公自ラ言。其

生平未嘗テ一ノ不好人ヲ見ズト。其浩蕩タル心胸。想フベキナリ。人生必讀書  
○伊藤仁齋曰ク。耳目ヲ駭カサズ。世俗ニ佛ラズ。從容和易。善ヲ樂テ倦マズ。學問ノ道。カクノ如キノミ。若夫ノ好テ高論奇行ヲ為シテ。人倫ニ益ナク。日用ニ資ケナキ者ハ。皆與ニ堯舜ノ道ニ入ルベカラズ。孟子ノ謂フ所邪說暴行トハ。

正ニ此ヲ謂フナリ。仁齋日札  
○貝原益軒曰ク。學者常ニ居ル。須ラク温和慈愛ヲ以テ。心ト為スベシ。便チ

論道議事追輯繼陸

歸田集古學  
向淵博



歐陽文忠公



是善ヲ為スノ本ナリ。仁ヲ以テ心ニ存  
 スルナリ。嚴毅威武ノ如キハ。須ラク之  
 ヲ用ヰル。時アルベシ。常ニ居ルノ道ニ  
 非ズ。朱子曰ク。須ラク是慈祥和厚ヲ本  
 ト為スベシ。勇決剛果ノ如キハ。無カル  
 ベカラズト雖モ。之ヲ用ヰルニ處アリ  
 ト。慎思  
 ○又曰ク。危キニ臨ミテ。懼レズ。義ニ當

リテ。其身ヲ愛セズ。是君子變ニ處ルノ  
 道。是ノ時ニ當リテ。宜ク勇猛果敢ナル  
 ベシ。若シ恐怖シテ苟モ免レバ。平日ニ小  
 廉曲謹アリト雖モ。觀ルニ足ラズ。大節  
 ニ臨ミテ。奪フベカラザルハ。君子ノ人  
 ト為スベキナリ。同上  
 第二章  
 ○郷ニ居リ及ビ。旅ニ在リ。輕シク人ノ

思ヲ受クベカラズ。吾ガ未達セザル時  
 ニアタリ。人ノ思ヲ受クレバ。其人ヲ見  
 ル毎ニ。常ニ敬畏ヲ懷キ。其人モ亦思ヲ  
 施シテ以テ。常ニ徳色アリ。吾ガ榮達ノ  
 後ニ及テ。遍ク報ズレバ。及バザル所ア  
 リ。報ゼザレバ。義ヲ虧クト為ス。前輩人  
 ノ仕官シテ。廣ク知己ヲ求ムルヲ見テ。  
 之ヲ戒テ曰ク。思ヲ受ル多ケレバ。以テ

朝ニ立チ難シト。宜ク詳カニ此ヲ味フ  
 ベシ。世 範

○富貴ノ地ニ處テハ。貧賤ノ痛癢ヲ知  
 ランコトヲ要シ。少壯ノ日ニ當テハ。須  
 ラク衰老ノ辛酸ヲ念フベシ。安樂ノ場  
 ニ居テハ。當ニ患難人ノ景況ヲ體スベ  
 ク。旁觀ノ地ニ處テハ。局内人ノ苦心ヲ  
 知ランコトヲ要ス。昨非庵 日纂

○必容ルコト有レバ。徳乃大ナリ。カナ  
 ラズ忍ブコトアレバ。事乃濟ル。一毫ノ  
 心ニ拂ルコトアレバ。即チ勃然トシテ  
 怒リ。一事ノ心ニ違フコトアレバ。即チ  
 憤然トシテ發ス。是涵養ノ力ナシ。薄福  
 ノ人ナリ。故ニ曰ク。人ノ詐ヲ覺ルモ。言  
 ニ形ハサバレバ。限リナキノ味アリ。同  
 上

○人ノ得意ノ事アルヲ見テハ。便當ニ  
 忻喜ノ心ヲ生ズベク。人ノ失意ノコト  
 アルヲ見テハ。便當ニ憐憫ノ心ヲ生ズ  
 ベシ。成ヲ忌ミ。敗ヲ樂ムモ。何ゾ人ノ事  
 ニ預ラン。徒ラニ自ラ心術ヲ壞ルノミ  
 上同

○凡事ヲ作ニハ。第一ハ自己ノ為メニ  
 思量シ。第二ハ他人ニ替リテ籌算スベ

シ。若、彼此兩ナガラ利アリ。或ハ己ニ於テ利アリ。人ニ於テ損ナクバ。皆之ヲ為スベシ。若、己ニ利スル者十ノ九。人ニ損スル者十ノ一ナラバ。即宜ク躊躇スベシ。モシ人ト己ト。利害正ニ半セバ。便宜ク之ヲ己ムベシ。況ンヤ利全ク己ニ在リ。害全ク人ニ在ル者ヲヤ。若、己ヲ損シ。以テ人ヲ利セバ。尤上々人ノコトナリ。

同上

○人。非理相加ルコトアリ。或ハ卑幼ノ者。無禮ヲ行ヒ。或ハ負心ノ人。恩ニ報ユルニ。讎ヲ以テス。此等俱ニ無知ノ妄人ニ属ス。亦世間常ニ在ルノ人ナリ。切ニ之ト争論スベカラズ。知世事  
○明ノ王耐軒曰ク。小人ノ量ハ鍼眼ノ如シ。物ヲ容ル能ハズ。心ハ棘刺ノ如シ。

卷之六 居齋

常二人ヲ害セント思フ。君子ノ之ヲ遇スル。一ニ禮ヲ以テシ。之ヲ待ツ。一ニ默ヲ以テス。畜徳録

○明ノ倪正父曰ク。凡人為ス所。輒意ノ如キ。之ヲ順境ト謂ヒ。為ス所。動モスレバ。齟齬ス。之ヲ逆境ト謂フ。順境意ヲ快ニシ。以テ人ヲ壞リ易シ。逆境ハ堪ヘ難シ。久クシテ益アリ。松柏霜雪ヲ經ザレ

ハ。堅固ナル能ハズ。識アル者。逆境ニ遇ハバ。理ヲ見ル愈。明カニ。學力愈進ム。識ナキ者。逆境ニ値ヘバ。小ナレバ。自ッ沮ミ。大ナレバ。節ヲ失フ。故ニ人ヲ觀ル。其逆境ニ處ルニ於テ。之ヲ觀ルベシ。同上

○宋ノ李邦獻曰ク。世ヲ涉リ。物ニ應ズル。横逆ヲ以テ我ニ加フル者アリ。譬ヘバ。草莽中ヲ行キ。荆棘ノ衣ニ在ルガ如

口集卷之六 居齋

シ。徐カニ行テ緩ク解カニノ。此ノ如クナレバ。方寸勞セズシテ怨釋クベシ。

省心  
雜言

○辱ノ一事ハ。最忍ビガタキ所ナリ。古ヨリ豪傑多ク此ニ由テ敗ル。竊ニ意フニ。辱ノ来ルヤ。ソノ人如何ヲ察ス。彼小人タレバ。直我ニ在リ。何ノ怒カアラシ。彼君子タレバ。直彼ニ在リ。何ノ怒カア

ラシ。世ノ人辱ノヨリ来ル所ヲ審カニセズ。一ニ怒ヲ以テ之ニ應ズ。此ソノ相仇シテ。相害フ所以ナリ。書ニ曰ク。必ず忍ブコトアレバ。其乃濟スコトアリト。  
疇筆

第三章

○曾子曰ク。飛鳥ハ山ヲ以テ卑クシト為シテ。巢ヲ其嶺ニ層ネ。魚鼈ハ淵ヲ以

テ淺ト為シテ。穴ヲ其中ニ穿ツ。然レド  
 モ。之ヲ得ル所以ノ者ハ餌ナリ。君子苟  
 モ能ク利ヲ以テ身ヲ害スルコト無ケ  
 レバ。辱何ニ由リテ至ランヤ。止。夫レ禮  
 法ヲ冒シテ。富貴ヲ求ムル者。終リヲ善  
 クスルコト鮮シ。乃利名ノ餌ト為レバ  
 ナリ。報 詒

○王陽明曰ク。今人ノ子孫ノ計ヲ為ス

ヤ。人ノ産業ヲ奪ハンコトヲ謀リ。日夕  
 營々トシテ。至ラザル所ナシ。身没シテ  
 未寒カラズ。隣家群起シテ報復シ。子孫  
 反テ其殃ヲ受ク。吁。戒ムベキカナト。夫  
 レ人家田宅相連ルモ。吞併ノ意アルベ  
 カラズ。或ハ貧ニ因リテ我ニ轉售セバ。  
 必平價實價ヲ以テ之ヲ買ヒ。其窮蹙ニ  
 因リ。價ヲ減ジテ賤售セシムベカラズ。

同上

○氣ヲ尚ビ勝ヲ好ムハ人ノ常情ト雖モ。小利ヲ争ヒテ。大義ヲ忘レ。虚氣ヲ尚ビテ。實禍ヲ釀スベカラズ。世人或ハ尺地ヲ争ヒテ。數千貫ヲ費シ。或ハ一言ノ忿ニ。其身ヲ忘レ。以テ其親ニ及ボス者アリ。若シ能ク含容忍耐シ。人ノ和解ヲ聽カバ。財ヲ省キカヲ省キ。心身安寧ナ

ラシ。願體集

○王陽明曰ク。後生美質。須ラク晦養深厚ナルベシ。天道モ翕聚セザレバ。發散スルコト能ハズ。況ニヤ人ヲヤ。花ノ千葉ナル者ハ實ナシ。其英華泄レ盡クルガ故ナリ。多識編  
○數十卷ノ書ヲ讀ムコトアレバ。便自ラ高大ニシ。長者ヲ凌忽シ。同列ヲ輕慢



シ。人之ヲ疾ムコト。讎敵ノ如ク。之ヲ惡ムコト。鳩梟ノ如シ。此ノゴトキハ。學ヲ以テ益ヲ求メ。今反テ自ラ損ス。學ブコトナキニ如カザルナリ。顏氏家訓  
○年少ノ子弟ハ。未<sup>ダ</sup>世事ヲ經ズ。人情ニ達セズ。老人ノ言ヲ以テ。迂遠ニシテ時勢ニ合ハズトシ。父祖ヲ蔑視スル者アリ。假令其才能アルモ。未<sup>ダ</sup>世事ヲ閱歷

セザレバ。老人ノ迂遠ナルニモ劣レリ。故ニ年長ケ。事ヲ經ルニ及ビテ。始メテ其言ノ理アルヲ悟ルベシ。家道訓  
○自ラ術ヒ。自ラ矜ル者ハ。名ヲ貪ルノ事ニシテ。名ヲ喪フノ基ナリ。實ヲ務メ。自ラ謙スル者ハ。名ヲ忘ル、ノ事ニシテ。又名ヲ得ルノ基ナリ。蓋<sup>シ</sup>實ヲ務ル者ハ。譬ヘバ艸木ノ根本アリテ。枝葉自ラ

生ズルガ如シ。外ヲ務ル者ハ。譬ヘバ潢  
潦ノ根源ナクシテ。漸々涸ル、ガ如シ。慎  
思  
録

○煩ヲ厭フハ。是人ノ大病ナリ。人事ノ  
廢弛シ。功業ノ成ラザル所以ナリ。蓋人  
事ノ應接。煩多ナリト雖モ。ミナ是吾人  
當<sup>レ</sup>ニ為スベキ所。分内ノ事ナリ。朱子曰  
ク。學者常ニ細務ヲ親ラセシコトヲ要

ス。心ヲシテ粗ナラシムルコト勿レト。  
此言。惰リテ。事ヲ厭フ者ノ戒ト為スベ  
シ。同上

○人二十以内ニ於テ。酒ヲ嗜ミ。杯ヲ貪  
レバ。志氣昏惰。一生ノ進歩限リアリ。性  
本聰明ナルモ。讀書ノ智。酒ヲ以テ昏ク。  
材。愚鈍ニ非ザルモ。奮往ノ神。酒ヲ以テ  
惰<sup>ル</sup>。謂フ所ノ醉ガ如ク。癡ナルガ如ク。

和漢傳身言 卷六 北風社藏本

醉生夢死ナル者。皆酒ヲ嗜ムヨリシテ  
成ル。五十以外ニ迨ビ。飯ハ一日食ハザ  
ルベキモ。酒ハ一日モ飲ザルヲ得ズ。遂  
ニ酒病ヲ以テ死ス。戒メザルベカラズ。

四戒  
景鈔

○柔弱ノ人モ。酒ヲ得テ暴ニ。恬静ノ人  
モ。酒ヲ得テ躁シク。簡默ノ人モ。酒ヲ得  
テ譁シク。事ノ密ニスベキ者。酒之ヲ泄

シ。事ノ急グベキ者。酒之ヲ懈タラシ。事  
ノ記スベキ者。酒之ヲ忘レシメ。心病ア  
ル者ハ。酒之ヲ佐ケテ鬪ハス。是皆酒ノ  
為メニ使ハレテ。覺エザルナリ。同上

### 第四章

○宋ノ歐陽永叔曰ク。君子ハ道ヲ同ク  
スルヲ以テ朋ト為シ。小人ハ利ヲ同ク  
スルヲ以テ朋ト為ス。小人好ム所ノ者

和漢傳身言 卷六 十八 北風社藏本

ハ利禄ナリ。貪ル所ノ者ハ財貨ナリ。其利ヲ用平ルノ時ニ當リ。暫ク相黨引シ。以テ朋ト為ス者ハ偽ナリ。其利ヲ見ルニ及テ。先ヲ争ヒ。或ハ利盡キテ。反テ相賊シ。兄弟親戚ト雖モ。相保ツコト能ハズ。君子ハ然ラズ。守ル所ノ者ハ道義。行フ所ノ者ハ忠信。惜ム所ノ者ハ名節。之ヲ以テ身ヲ修ムレバ。道ヲ同クシテ相

益シ。之ヲ以テ國ニ事フレバ。心ヲ同クシテ共ニ濟ス。歐陽文忠公集  
○凡、鄰里相處ル。信義ヲ先トス。人ト相會スルガ如キ。忙冗ト雖モ。必ず須ラク。期ニ赴クベシ。甚大故アラバ。亦須ラク。期ニ先チテ告ゲ謝スベシ。事ニ臨ミテ。背違スルコトヲ得ザレ。人ニ財物ヲ許サバ。必ず須ラク。人ノ請ニ應ズベシ。如

給スルコト能ハズンバ。許スコト莫キ  
 ニ如カズ。人ノ寄托ヲ受ケバ。必<sup>ズ</sup>其事ヲ  
 終ヘ。人ノ急難ヲ救ハズ。當<sup>キ</sup>ニ先ダツベ  
 シ。利ヲ以テ義ニ先ダテ。私ヲ以テ公ヲ  
 害スルコト勿<sup>レ</sup>。 穀詒  
 ○省心集要ニ曰ク。人ヨリ我ニ求ムル  
 コト有リ。我能ク應ゼバ。之ニ應ジ。能ハ  
 ズンバ。亦當ニ顔色ヲ和ラゲ。異言ヲ以

テ之ヲ辭スベシ。之ヲ拒ムコト太嚴ナ  
 ルベカラズ。亦事故ニ托シテ遲延シ。其  
 ヲシテ失望セシムベカラズ。上<sup>レ</sup>大凡人  
 ヲ待ツハ。宜ク寛厚ニ從フベシ。語ニ曰  
 ク。牆薄ケレバ傾キ易ク。酒薄ケレバ酸  
 シ易ク。人薄ケレバ敗レ易シト。同上  
 ○恩ヲ忘レ。徳ニ背ク者アリ。其人必<sup>ズ</sup>父  
 ニ事ヘテ孝ナラズ。君ニ事ヘテ忠ナラ

ズ。何トナレバ。忠孝モ亦是恩ヲ報ユル  
 ノ大ナル者ナリ。君子百行ノ中。恩ヲ報  
 ヲルヲ大ナリトナス。人若シ思ヲ忘ル、  
 有ラバ。其餘ハ觀ルニ足ラザルナリ。信  
 義ニシテ守リアル者。能ク人ノ恩ニ感  
 ズ。柔懦ニシテ守リナキ者ハ。思ヲ悦ブ  
 ノ心有リト雖モ。感激ノ心ナシ。故ニ思  
 ヲ報ユルコト能ハズ。  
慎思録

○交友ノ際。若シ情意疎薄ニシテ。音問ヲ  
 曠闕スルコト有ラバ。只當ニ吾ガ志ノ  
 厚カラザルヲ謝スベシ。外事ノ紛冗ニ  
 托シテ。其疎略ヲ偽飾スベカラズ。是細  
 事ト雖モ。過ヲ文ザリ。自ラ欺ク。忠信ノ  
 道ニ非ズ。古語ニ云。君子過アレバ。謝ス  
 ルニ質ヲ以テシ。小人過アレバ。謝スル  
 ニ文ヲ以テスト。亦此意ナリ。同上

○人ニ隨ヒテ毀譽ヲ為ス者。昔人諸ヲ  
 矮人ノ戲場ヲ觀ルニ譬フ。其真ニ見ル  
 所ナキヲ以テナリ。凡人ヲ知ルコト。審  
 ナルニ非ザレバ。人ニ隨ヒ。輕シク毀譽  
 ヲ為スベカラズ。然ラザレバ。過タザル  
 者鮮シ。同上  
 ○我ヲ毀ルノ言ハ。聞クベシ。我ヲ毀ル  
 ノ人ハ。必シモ問ハズ。我ヲシテ。此事ア

ラシメバ。彼言ハズト雖モ。必ズ之ヲ言フ  
 者アリ。我聞テ之ヲ改ム。是又一ノ業ヲ  
 受ケザルノ師ヲ得ルナリ。我ヲシテ此  
 事無カラシメンカ。我辯ゼスト雖モ。必  
 之ヲ辯ズルモノアリ。若聞テ之ヲ怒ラ  
 バ。是又一ノ言ヲ受ケザルノ過ヲ多ク  
 スルナリ。呻吟語

和漢修身訓卷六終

明治十五年三月廿八日板權免許  
同年六月十日出版  
同年九月十八日再版御届

六

東京府士族

光風社長



著者出版人

東京神田區金澤町一番地  
大坂北久大郡町

柳原喜兵衛

發兌人

備後町丁目

梅原龜七

同 本町四丁目

岡島真七

同 南本町

中近堂支店

東京馬喰町

石川治兵衛

定價八錢

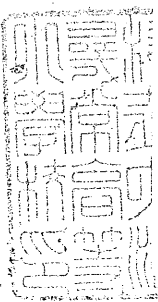
稟准

東京光風社

明治十四年之冬以  
後製本以此紙為証



修



修
第 五 號
共 拾 冊
年 月 日 備付

私印修方洲

共拾冊

K110.1  
190  
7